



Keidanren Women's Executive Network

Leadership
Mentor
Program女性活躍が
Innovative & Sustainableな
日本の未来を創る

経団連女性エグゼクティブ・ネットワーク

第16回リーダーシップ・メンター・プログラム

2019年9月18日 東京・大手町 経団連会館

危機と変化への対応

大和証券は、創業以来、困難を乗り越える度に社員が結束力を高め、環境変化に機敏に対応することでDNAを守り続けてきた。特に、バブル崩壊、金融ビッグバン、アジア通貨危機に続く90年代後半の国内金融危機時においては、証券界としてビジネスモデルの抜本的改革が求められる中、①日本の上場企業初の純粋持株会社である大和証券グループ本社の発足、②大和証券のリテール・ホールセールへの分社化、③ホールセールの住友銀行との合併事業化、という3つの構造改革を実行し、最大の危機を乗り越えた。いち早く持株会社化したことにより、グループとしての一体性を維持しながら各事業分野がその個性を発揮し競争力・成長力を高める体制が構築されたことは、当社グループの大きなアドバンテージになっている。

人材育成と女性活躍推進

大和証券グループの競争力の源泉は「人材」である。社員の生産性・活躍度・働きがい最大化すべく、若手からベテランまで男女を問わず、すべての社員が自身の能力を発揮してモチベーション高く働き続けられる環境の整備に努めている。

特に女性活躍推進については強力に取り組んでおり、早期から多様な制度を整備してきたことに加え、最近ではキャリア形成も含めた包括的な支援を行う「Daiwa ELLE Plan」を導入している。また、役員に占める女性割合の向上を目指す世界的なキャンペーンであり、5月に日本で本格的に活動を開始した「30% Club」のメンバーにトップ2名が参画し、資本市場の担い手としてダイバーシティ経営を日本の企業社会に根付かせることを目指している。

女性役員の皆さんへ

—Take a Chance, Go Bold. 思い切ってこう!—

ダイバーシティはこれからの企業の競争力である。女性活躍が、Innovative & Sustainableな日本の未来を創る。昨今では、ESG投資が30兆ドルを超えるとされるが、女性活躍で世界のESG投資を惹きつける日本企業になっていただきたい。

企業における女性活躍は黎明期であり、女性には大きなチャンスが到来したといえる。このチャンスを活かし、臆することなく挑戦して欲しい。また、会社・業界を超えた女性同士のネットワークの構築や後進の育成が極めて重要であり、皆さんには、女性社員のロールモデルとして様々なアクションを起こして欲しい。

Mentor Profile

日比野 隆司氏

(一社)日本経済団体連合会
審議委員会副議長(株)大和証券グループ本社 取締役会長
兼 大和証券(株)代表取締役会長

1955年岐阜県生まれ。東京大学法学部を卒業後、1979年、大和証券に入社。債券部に債券ディーラーを務めた後、ロンドン・シティにおいて5年間の海外駐在勤務。経営企画部長、エクイティ担当執行役員等、多様な職務を歴任し、2004年に大和証券グループ本社取締役に就任。2011年より、同社取締役兼代表執行役社長(CEO)を務め、2017年4月より、同社取締役会長。2017年7月より、日本証券業協会副会長。経団連では、2018年5月より金融・資本市場委員長、2019年5月より審議委員会副議長を務める。

大和証券グループ本社
Daiwa Securities Group Inc.